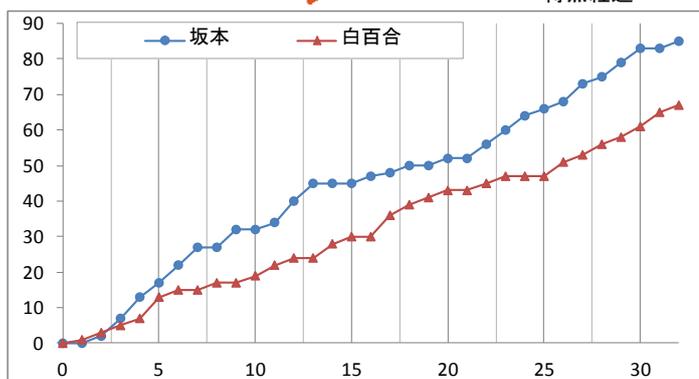




大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	一関市総合体育館																	
日時	2015年8月24日(月)	9:30																
コート	Bコート 第1試合																	
カテゴリー	女 決勝トーナメント1回戦																	
主審	高嶋 憲彰																	
副審	工藤 由佳																	
TEAM A	TEAM B																	
坂本 (神奈川県)	85 ○	<table border="1"> <tr><td>27</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	27	1st	17	20	2nd	13	17	3rd	17	21	4th	20	-			67 ● 白百合 (岩手県)
27	1st	17																
20	2nd	13																
17	3rd	17																
21	4th	20																
-																		

得点経過



BOXスコア

TEAM A		坂本						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	池田 沙紀	×	21	3	6	0	0	
5	太田 清香	×	8	0	4	0	1	
6	鈴木 知奈	×	10	1	3	1	1	
7	池田 晴南	/	4	0	2	0	1	
8	市川 美桜	/	0	0	0	0	1	
9	渡邊 穂乃香	/	2	0	1	0	0	
10	佐藤 華恵	/	0	0	0	0	0	
11	上村 夏音	/	2	0	1	0	0	
12	土元 海	/	0	0	0	0	0	
13	松本 陽彩	/	0	0	0	0	0	
14	大山 美紀	/	0	0	0	0	0	
15	藤 ひより	/	1	0	0	1	0	
16	奥山 理々嘉	×	30	1	9	9	0	
17	菊岡 真奈	×	3	0	1	1	3	
18	佐藤 七海	/	4	0	2	0	1	
コーチ	瀬川 大樹							
合計			85	5	29	12	8	

TEAM B		白百合						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	金澤 優菜	×	6	0	3	0	1	
5	廣田 彩	DNP	0	0	0	0	0	
6	下堀 海月	DNP	0	0	0	0	0	
7	熊谷 ひより	×	8	0	4	0	5	
8	菊地 美佳	×	26	0	10	6	3	
9	堀川 未来	DNP	0	0	0	0	0	
10	金野 姫奈	DNP	0	0	0	0	0	
11	鈴木 等子	/	12	2	2	2	1	
12	千葉 未空	×	7	1	2	0	4	
13	高橋 優南	DNP	0	0	0	0	0	
14	木村 穂南	DNP	0	0	0	0	0	
15	荒澤 結衣	/	2	0	1	0	0	
16	川村 莉子	×	6	0	3	0	3	
17	帷子 美祈	DNP	0	0	0	0	0	
18	木村 萌々	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	小川 陽							
合計			67	3	25	8	17	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

関東3位の坂本と開催地盛岡白百合学園の対戦。坂本ハーフマンツーマンDef、白百合オールコートマンツーマンDefでスタート。先手を取ったのは坂本。#16から#17の合わせや#16のリバウンドで着々と得点を重ねる。白百合もタイムアウトを取ってから反撃を開始。しかし、坂本は#4のミドル、#4、#16の3Pが決まり、突き離す。27-17で1Q終了。2Q白百合は激しくプレッシャーをかけボールを奪いにくいものの、ファールが重なり苦しい展開。坂本は#6の連続シュートや#5のジャンプシュートなどで得点を重ねる。白百合も#16のミドルや#11の3Pで対抗するが、高さを生かした坂本の攻撃を止められない。40-24となったところで白百合がタイムアウト。#7のゴール下、#12のシュートなどで追い上げるが47-30で前半終了。

3Q、白百合は反撃開始。激しいDefからボールを奪い、#8、#16のシュート、#12の3Pなどで一気に差をつめる。たまたま坂本タイムアウト。落ち着きを取り戻し、坂本も反撃。#16がよく走りシュートに行った際に白百合#7がファール。坂本は高さを生かし得点を重ね、3Qは64-47で終了。4Qは激しい点の取り合いとなる。白百合は#8を中心に得点するが坂本は落ち着いた試合運びでリードを保つ。白百合は残り3秒でタイムアウトを取り、#8が執念のシュートを決めるが、ここで試合終了。85-67で坂本がベスト8進出を決めた。しかし最後まで走り抜いた白百合の健闘も称えたい。